

平成 13 年度第 2 回高等教育機関連絡協議会事務局長会議  
会 議 録

1．開催日時 : 平成 13 年 8 月 31 日 ( 金 ) 午後 1 時 30 分

2．開催場所 : 宇都宮市役所教育委員室 ( 13 階 )

3．出席者氏名 : 宇都宮短期大学 事務局長 菅野 東彦  
宇都宮大学 総務課長補佐 福田 邦彦  
宇都宮文星短期大学 事務局長 齋藤 健次郎  
文星芸術大学 //  
作新学院大学女子短期大学部 事務局長 北 俊一  
作新学院大学 //  
帝京大学理工学部 事務局長 佐藤 義男  
宇都宮市教育委員会 教育次長 阿部 将樹

4．公開・非公開の別 : 公 開

5．傍聴者の数 : 0 人

6．議事

( 1 ) 協議事項

7 大学めぐりについて  
生涯学習情報システムへの講師登録について  
7 大学リレー公開講座の企画について  
平成 14 年度の事業について

7．発言の要旨

〔協議事項〕

( 1 ) 7 大学めぐりについて

( 北委員 )

昼食は、場所の提供でよいのか。

( 井上係長 )

学食を使わせていただきたい。原則的には各自持参ということだが、学生と同じように利用させていただけると、より学生気分が味わえると考えている。

(福田総務課長補佐)

放送大学は別の組織だが、連絡についてはどのようにしているか。

(井上係長)

まだ連絡していないので、改めてお願いし、連絡をとり調整する。

(2) 生涯学習情報提供システムへの講師登録について

(北委員)

10月末までということだが、近々依頼の文書をいただけるのか。すでに登録されている先生が変更された場合はどうするのか。

(井上係長)

依頼については、近々送付する。すでに登録している方には2年に1回確認している。すでにお辞めになっている先生については、早速取り消す。

(3) 7大学リレー公開講座の企画について

(齋藤委員)

案3は今までと同じで、案1か案2でできないかということか。

(阿部次長)

できれば案1か案2のように改善できればと考えているので、このどちらかでご意見いただきたい。

(北委員)

受講生からの希望はあるのか。

(井上係長)

テーマを設けて繋がりが持てれば、という意見はいただいている。

(齋藤委員)

2つのテーマを立てておけば、各大学でテーマにつなげた講座がやりやすいのではないか。最初から一つでは難しいから、案1でよいのでは。

(佐藤委員)

齋藤先生の考えは、各シリーズのテーマを同じ“女性と現代”とすることがか。

(齋藤委員)

“現代と ”という観点から取り上げれば一つの流れができる。テーマを二つ並べて各大

学がどちらかに関連付ければ、全体としては“女性”と“現代”というまとまった一つの講座であるということではないか。

(菅野委員)

案1を一つのテーマにまとめると案2になる。全体で一つのテーマだと宇短大ではそのテーマに会う学科があるかどうか懸念があるから、案1ではいかがか。

(北委員)

案1のシリーズは固定しているのか。

(井上係長)

事務局で作成した案なので変更することは可能。

(阿部次長)

“女性”と“現代”は固定か。

(井上係長)

今年はこれをお願いしたい。

(丹生課長)

テーマは“女性”と“現代”とさせていただき、各大学の意向をお伺いし、調整して一方に片寄らないようにさせていただきたい。

(4)平成14年度事業について

・7大学めぐりについて

来年度も継続

・7大学リレー公開講座について

来年度も継続

・オープンキャンパスについて

(北委員)

オープンキャンパスを7月と8月に開催したが、市民の方から参加したいという話があった。今回は模擬授業をたくさんやったが、その模擬授業を受けてみたいということだった。高校生向けで内容を構成していたが、それでも良いということで受講していただいた。市民のニーズはあるのではないか。一般の人に大学を知ってもらう機会にはなる。人数にもよるが、オープンキャンパスに来ていただいて見てもらうのも良いのではないか。

問題としては、人数の問題と、交通手段の問題がある。

( 齋藤委員 )

受験生と一緒にくる人がいるが、同様に扱っている。デッサン室など容量に限りがあるので、人数を制限し、受験生に影響がない程度にやるのならよいのではないか。

( 阿部次長 )

一度持ち帰っていただき、一定の条件のもとでも可能ならやってみるということではいかがか。各大学で検討していただけないか。

## 8 . その他

事務局から、電子メールアドレスの報告について連絡